

**幡多地域アクションプランの
追加・削除・拡充等（予定項目）**

**幡 多 地 域 本 部
令和8年1月23日（金）**

地域アクションプランの令和8年度の追加・削除等項目（案）

地域アクションプランの支援の方向性

地域アクションプランの目標の達成に向けて、産業振興推進地域本部を中心に、事業者等の取り組みをきめ細かく支援する。あわせて、市町村等と連携し、地域の新たなチャレンジをしっかりと伴走支援していく。

（1）地域アクションプランの実行支援

- ① 今後産振補助金の活用が見込まれる事業者の事業計画作成を支援。必要に応じて産業振興アドバイザーを投入。
- ② 雇用奨励金事業の活用促進に向け、事業者や市町村への周知を徹底するとともに、活用が見込まれる事業者への支援を強化。

（2）地域の新たなチャレンジを支援

- ① 引き続き、市町村や商工会等と連携し、地域の新しい動きに関する情報収集に努めるとともに、起業を目指す地域おこし協力隊等への個別訪問等により、地域の新たなチャレンジを支援。
- ② 地域に若者の雇用を生み出すため、地域アクションプランのあり方について検討。

地域アクションプランの増減 R7年度 156件 → R8年度 155件

（1）追加（新規）： 1件

- 地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化（日高村）



（2）削除（廃止）： ▲ 1件

- 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化（四万十市）

（3）統合： 2件 → 1件

- ～しまんとがわのまんなか～四万十町観光交流促進事業（四万十町）
- 四万十町観光交流拠点施設の整備（四万十町）

	R7年度 (第5期ver.2)	R8年度 (第5期ver.3)				AP数
	AP数 R8.1月時点	増減				
		追加	削除	統合	計	
安芸	20					20
物部川	19					19
高知市	14					14
嶺北	16					16
仁淀川	33	1			1	34
高幡	24			(2→1) ▲ 1	▲ 1	23
幡多	30		▲ 1		▲ 1	29
合計	156	1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	155

幡多地域アクションプラン項目（第5期計画（R7年度）と

第5期計画ver.3（R8年度）の対比表

【幡多地域】

No.	現在(令和7年度)	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		6	8	9	5	6	6
1	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の推進	●					
2	宿毛市イチゴ・フィンガーライムブランド化推進プロジェクト	●					
3	四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化			●			
4	三原村ユズ産地化計画の推進					●	
5	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進	●					
6	宗田節関連商品の販路拡大の推進	●					
7	宗田節の一般向け加工商品の販売促進と体験観光の強化	●					
8	新たな製造方式による宗田節等の生産・販売の強化	●					
9	宿毛湾の水産加工品等の販売拡大				●		
10	道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした地域振興	●					
11	道の駅「めじかの里土佐清水」を拠点とした地域振興		●				
12	売り出せ西土佐プロジェクト			●			
13	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大			●			
14	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進			●			
15	地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化			●			
16	地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進			●			
17	道の駅「ふれあいパーク・大月」を拠点とした産業振興と賑わいの創出				●		
18	三原村のどぶろくによる地域活性化					●	
19	黒潮町産天日塩を活用したビジネスの推進						●
20	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進						●
21	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進						●
22	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進	●	●	●	●	●	●
23	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化	●	●	●	●	●	●
24	宿毛市の地域資源を活用した観光振興	●					
25	土佐清水まるごと戦略観光の展開		●				
26	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進			●			
27	大月町の地域資源を活用した観光振興				●		
28	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光の推進					●	
29	黒潮町の地域資源を活用した観光の推進						●
30	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興						●

①削除

宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	改定案(令和8年度)
●						1	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の推進
●						2	宿毛市イチゴ・フィンガーライムブランド化推進プロジェクト
		●				3	四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化
					●	4	三原村ユズ産地化計画の推進
●						5	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進
●						6	宗田節関連商品の販路拡大の推進
●						7	宗田節の一般向け加工商品の販売促進と体験観光の強化
●						8	新たな製造方式による宗田節等の生産・販売の強化
			●			9	宿毛湾の水産加工品等の販売拡大
●						10	道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした地域振興
●						11	道の駅「めじかの里土佐清水」を拠点とした地域振興
		●				12	売り出せ西土佐プロジェクト
		●				13	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大
		●				14	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進
		●				15	地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進
			●			16	道の駅「ふれあいパーク・大月」を拠点とした産業振興と賑わいの創出
				●		17	三原村のどぶろくによる地域活性化
					●	18	黒潮町産天日塩を活用したビジネスの推進
					●	19	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進
					●	20	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進
●	●	●	●	●	●	21	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進
●	●	●	●	●	●	22	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化
●						23	宿毛市の地域資源を活用した観光振興
	●					24	土佐清水まるごと戦略観光の展開
		●				25	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進
			●			26	大月町の地域資源を活用した観光振興
				●		27	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光の推進
					●	28	黒潮町の地域資源を活用した観光の推進
					●	29	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興

幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等(予定項目)

■追加

なし

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 15 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化（四万十市） 【実施主体】 ・◎四万十市中心商店街活性化協議会 ・◎四万十にぎわい商店(株) ・四万十市	入込客数が順調に増加し、自立した経営により着実に売上を伸ばしていることから、自立プランに位置付ける。

■その他(拡充、統合、分割等)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 5 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進（土佐清水市） 【実施主体】 ・◎土佐清水食品(株) ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市	【修正】 指標に係る商品で新たな展開があったため、指標の個別商品名「スープロス」を「キューブ状商品」に修正する。
2	No. 10 道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした地域振興（宿毛市） 【実施主体】 ・◎宿毛市	【修正】 当初予定から設計・整備スケジュールを見直したため、行程表を修正する。
3	No. 14 幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進（四万十市） 【実施主体】 ・◎(有)和	【修正】 予定していた加工販売施設の候補地取得の目処が立たなくなったことから、行程表を修正する。
4	No. 16 道の駅「ふれあいパーク・大月」を拠点とした産業振興と賑わいの創出（大月町） 【実施主体】 ・◎(一財)大月町ふるさと振興公社 ・大月町	【修正】 施設改修について、スケジュールが確定したため、行程表を修正する。

5	<p>No. 28 三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光の推進（三原村）</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ◎三原村 ・ ◎（一社）三原村集落活動センター やまびこ ・ 三原村商工会 	<p>【修正】</p> <p>今年度から運用開始した体験プログラム「ポタリング」について、プログラム名が変更となったため、「スローサイクリング」に修正する。</p>
---	--	--

AP名 (実施地域)	No.15 地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化 (四万十市)
実施主体	◎四万十市中心商店街活性化協議会、◎四万十にぎわい商店(株)、 四万十市
APへの位置づけ	H29.4月
事業概要	地域商業活性化拠点「Shimanto+Terrace はれのば」を核に、県内外の観光客 といった新たな顧客を官民協働で呼び込むことにより、商店街等に継続的な賑わいをも たらし、中心市街地の活性化を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
拠点施設の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設運営主体の決定：四万十にぎわい商店(株) (H29) ・「Shimanto+Terrace はれのば」オープン (R2) → R元地域経済活性化拠点補助金の活用 ・公園スペースでの主催、持ち込みイベントの開催 (R2～) ・はれのばマルシェの開催 (R4～) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街エリア内の新規出店者数(累計) R2:11店舗 → R4:16店舗 → R5:20店舗 → R6:26店舗 ・直営店「cafe n2」 <p>売上高 R2:1,225万円 → R4:1,731万円 → R5:2,027万円 → R6:2,134万円</p> <p>入込客数 R2:10,367人 → R4:17,883人 → R5:19,429人 → R6:19,956人</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設公園スペースの利用促進 ・拠点施設と中心商店街の連携による賑わいの波及
中心市街地エリアへの賑わいの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市中心市街地活性化協議会の設立 (H30) ・四万十市中心商店街活性化計画づくり (H30) → 産振アドバイザー制度の活用 ・四万十市中心商店街活性化計画の策定 (R元) 第2期四万十市中心商店街活性化計画の改定 (R6) ・商店街マップの作成 (R3) ・身内で商店街ツアーの実施 ・店舗紹介サービスの実施と商店街マップの活用 ・四万十玉姫の会(四万十市商店街振興組合連合会女性部)による「玉姫様の日(毎月22日)」の参加店舗拡大や「おまち中村超得スタンプラリー」の実施 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設公園スペースの利用促進 ・拠点施設と中心商店街の連携による賑わいの波及

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)中心商店街エリア内の 通行量	平日 4,359人 休日 2,800人 (R4)	平日 4,341人 休日 3,023人			平日 6,200人 休日 4,800人
(2)中心商店街エリア内の 新規出店者数	16店舗 (R元～4累計)	6店舗			10店舗 (R6～9累計)
(3)売上高 (四万十にぎわい商店(株))	2,180万円 (R4)	2,609万円			2,524万円

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>拠点施設に人を呼び込む仕組みづくり</p> <p>■四万十にぎわい商店(株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設のカフェ及びテナントの魅力向上 ・拠点施設等を活用した集客イベントの実施、持ち込みイベントの支援 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設等でのイベント実施希望者に関する情報提供 ・イベント情報や公園スペースの利用方法等の紹介 				
<p>中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり</p> <p>■四万十市中心商店街活性化協議会、四万十にぎわい商店(株)、四万十市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携した取り組みの継続、充実 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街等振興計画推進事業費補助金等による支援 ・産振アドバイザー制度の活用を提案 				
<p>エリア情報の集約及び情報発信の強化</p> <p>■四万十にぎわい商店(株)、四万十市中心商店街活性化協議会、四万十市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行やSNS等による商店街でのイベント等の発信強化 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街等振興計画推進事業費補助金等による支援 ・情報発信に関する産振アドバイザー制度の活用を提案 				
<p>新規出店の促進</p> <p>■四万十市中心商店街活性化協議会、四万十市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ事業の推進 ・エリア内空き店舗情報の共有 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街等振興計画推進事業費補助金、空き店舗対策事業費補助金等による支援 				

幡多地域アクションプラン

分野 水産業

AP名 (実施地域)	No.5 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市)
実施主体	◎土佐清水食品(株)、宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売の促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消・外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
保管・加工施設の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍保管施設の稼働開始 (H31) <ul style="list-style-type: none"> → 水産業競争力強化緊急施設整備事業の活用 残渣加工施設の稼働開始 (R3) <ul style="list-style-type: none"> → リマ区域周辺漁業用施設設置事業の活用 共同加工施設の本格稼働開始 (R4) <ul style="list-style-type: none"> → リマ区域周辺漁業用施設設置事業の活用 	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上高(土佐清水食品) <ul style="list-style-type: none"> R2:18.9億円 →R4:21.1億円 →R5:21.0億円 →R6:22.1億円 宗田節まつりの来場者 <ul style="list-style-type: none"> R元:2,500人 →R4:3,000人 <p>(あしうわまんぷくフェスタ、ジョン万祭と同時開催) →R5:9,200人 (産業祭と同時開催)</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原魚の確保 共同加工施設等の利用促進 スープブロスの販路拡大 宗田節の認知度向上
スープブロス製造・販売体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 殺菌・真空包装機器の整備 (H22) <ul style="list-style-type: none"> → 産振補助金の活用 スープブロス商品化 (H30) スープブロス製造ラインの整備 (R3) <ul style="list-style-type: none"> → R2(R3 繰越)産振補助金の活用 エアシャワー等の導入による衛生管理の強化 (R3) <ul style="list-style-type: none"> → R2(R3 繰越)新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 JFS-B規格の認証取得 (R5) 商談会・イベント等への出展 新商品「カンタンだし」の開発・販売 (R6.3月～) 	<p>(あしうわまんぷくフェスタ、ジョン万祭と同時開催) →R5:9,200人 (産業祭と同時開催)</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原魚の確保 共同加工施設等の利用促進 スープブロスの販路拡大 宗田節の認知度向上
メジカ・宗田節の認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> 宗田節ロード(スタンブラー)実施 (H29～R2) 宗田節まつりの開催 (H30、R元、R3～R5) 市内小中学校での食育活動の実施 (R4～) 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高	21.1億円 (R4)	22.1億円			25.8億円
スープブロス売上高	965万円 (R4)	924万円			2.4億円

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>保管・加工施設の円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土佐清水食品(株) <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な人員配置 ・生産管理等による施設の円滑な運営 ■土佐清水市 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の円滑な運営 ・事業者の施設利用の促進 □県 <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度等の活用提案 				保管・加工施設の円滑な運営
<p>スープブロスを核とした製造・販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土佐清水食品(株) <ul style="list-style-type: none"> ・市ゆかりの店(土佐清水ワールド等)へのアプローチ、アンテナショップの活用 ・商談会・展示会への参加 ・新商品の開発・販売 ・OEMによる新商品の開発・販売 ・機器導入の検討(オープン・袋詰め作業の自動化) ・JFS-B規格に基づく衛生管理の強化 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等の情報提供 ・関係機関への橋渡し 		新商品の開発		販売
				機器導入の検討
<p>メジカ・宗田節の全国的なPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土佐清水食品(株) <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信の強化 ・商談会・展示会への参加 ■宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市 <ul style="list-style-type: none"> ・知ってもらいたい委員会の運営 ・市内小中学校での食育活動の実施 □県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等の情報提供 				情報発信の強化
				市内での普及活動

幡多地域アクションプラン

分野 水産業

AP名 (実施地域)	No.5 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市)
実施主体	◎土佐清水食品(株)、宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売の促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消・外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
保管・加工施設の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍保管施設の稼働開始 (H31) → 水産業競争力強化緊急施設整備事業の活用 ・残渣加工施設の稼働開始 (R3) → リマ区域周辺漁業用施設設置事業の活用 ・共同加工施設の本格稼働開始 (R4) → リマ区域周辺漁業用施設設置事業の活用 	<p>[[成果]]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高(土佐清水食品) R2:18.9億円 →R4:21.1億円 →R5:21.0億円 →R6:22.1億円 ・宗田節まつりの来場者 R元:2,500人 →R4:3,000人 <p>(あしうわまんぶくフェスタ、ジョン万祭と同時開催)</p>
キューブ状商品製造・販売体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・殺菌・真空包装機器の整備 (H22) → 産振補助金の活用 ・スープロス商品化 (H30) ・スープロス製造ラインの整備 (R3) → R2(R3 繰越)産振補助金の活用 ・エアシャワー等の導入による衛生管理の強化 (R3) → R2(R3 繰越)新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 ・JFS-B規格の認証取得 (R5) ・新商品「カンタンだし」の販売開始 (R7) ・商談会・イベント等への出展 	<ul style="list-style-type: none"> →R6:9,200人 →R7:1,278人 <p>(産業祭と同時開催)</p> <p>[[課題]]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚の確保 ・共同加工施設等の利用促進 ・キューブ状商品の販路拡大
メジカ・宗田節の認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・宗田節ロード(スタンプラリー)実施 (H29~R2) ・宗田節まつりの開催 (H30、R元、R3~R7) ・市内小中学校での食育活動の実施 (R4~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗田節の認知度向上

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高	21.1億円 (R4)	22.1億円			25.8億円
キューブ状商品売上高	965万円 (R4)	924万円			2.4億円

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>保管・加工施設の円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土佐清水食品(株) <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な人員配置 ・生産管理等による施設の円滑な運営 ■土佐清水市 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の円滑な運営 ・事業者の施設利用の促進 <p>□県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザー制度等の活用提案 				保管・加工施設の円滑な運営
<p>キューブ状商品を核とした製造・販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土佐清水食品(株) <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップの活用 ・商談会・展示会への参加 ・新商品の開発・販売 ・OEMによる新商品の開発・販売 ・機器導入の検討(オープン・袋詰め作業の自動化) ・JFS-B規格に基づく衛生管理の強化 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等の情報提供 ・関係機関への橋渡し 		全国的な販路拡大による販売拡大	新商品の開発	販売
<p>メジカ・宗田節の全国的なPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土佐清水食品(株) <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信の強化 ・商談会・展示会への参加 ■宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市 <ul style="list-style-type: none"> ・知ってもらいたい委員会の運営 ・市内小中学校での食育活動の実施 <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等の情報提供 			機器導入の検討	情報発信の強化
				市内での普及活動

修正項目(案)

修正前

幡多地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.10 道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした地域振興 (宿毛市)
実施主体	◎宿毛市
APへの位置づけ	R4.4月
事業概要	R5.5月にリニューアルした道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点として、地元特産品等の販売を促進するとともに、宿毛まちのえき「林邸」等との連携を通じて情報発信拠点としての機能強化を図り、交流人口の拡大と地域経済のさらなる活性化を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「すくもサニーサイドパーク」実施設計 (R3) → R3 観光振興推進総合支援事業費補助金の活用 道の駅「すくもサニーサイドパーク」リニューアル (R5) → R4 地域観光振興交付金の活用 各種誘客イベント等の開催 月例イベントの開催 (R5～) 土佐の豊穰祭 2024「肉フェス」開催 (R6) 高知光のフェスタ 2024「サニーサイド・海辺のイルミネーションとだるま夕日」開催 (R6) 庁内プロジェクトチームによる「新たな道の駅」構想の検討 (R5) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅「すくもサニーサイドパーク」の入込数 R2 : 65,500人 → 216,000人 (R5.5～R6.3) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度の向上 キャンプエリア利用率向上 リピーターの確保 市内飲食店等への誘客

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	2,126万円※ (R5.5～R6.3)				3,150万円
(2)レジ通過者数	2.1万人※ (R5.5～R6.3)				4.2万人

※R5.5月にリニューアルオープンのため、出発点はR5.5月～R6.3月とする。

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
施設整備及び体制強化 ■宿毛市 ・物産館整備に向けた事業計画の策定、実施設計、施設整備 ・出品者等との連携強化 ・運営状況等に関するミーティングの実施 □県(地域本部等) ・産振補助金ほか、各種支援制度に関する情報提供	計画策定	施設整備	施設稼働	
特産品等の販売促進 ■宿毛市 ・宿毛市推奨品認定制度を活用した特産品のPR ・宿毛まちのえき「林邸」と連携した目玉グルメ商品の開発 ・道の駅グルメ全国コンテストへの出場 ・キッチンカー事業者と連携した季節ごとのイベント開催 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度の活用提案		グルメ商品の開発	グルメ商品のPR	
道の駅を核とした市内周遊促進の強化 ■宿毛市 ・SNS等を活用した情報発信の強化 ・人流データを活用したマーケティング分析 ・他団体と連携した周遊促進事業の実施 □県(地域本部等) ・プロモーション活動に伴う支援 ・各種支援制度に関する情報提供			イベントの開催	
			情報発信の強化	
			周遊促進事業の実施	

幡多地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.10 道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした地域振興 (宿毛市)
実施主体	◎宿毛市
APへの位置づけ	R4.4月
事業概要	R5.5月にリニューアルした道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点として、地元特産品等の販売を促進するとともに、宿毛まちのえき「林邸」等との連携を通じて情報発信拠点としての機能強化を図り、交流人口の拡大と地域経済のさらなる活性化を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「すくもサニーサイドパーク」実施設計(R3) → R3 観光振興推進総合支援事業費補助金の活用 道の駅「すくもサニーサイドパーク」リニューアル(R5) → R4 地域観光振興交付金の活用 道の駅「すくもサニーサイドパーク物産館」実施設計(R7) 各種誘客イベント等の開催 月例イベントの開催(R5～) 土佐の豊穰祭 2024「肉フェス」開催(R6) 高知光のフェスタ 2024「サニーサイド・海辺のイルミネーションとだるま夕日」開催(R6) 庁内プロジェクトチームによる「新たな道の駅」構想の検討(R5) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅「すくもサニーサイドパーク」の入込数 R2：65,500人 → 191,100人 (R5.5～R6.3) → 216,091人 (R6.4～R7.3) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度の向上 キャンプエリアの利用率向上 リピーターの確保 市内飲食店等への誘客

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	2,126万円※ (R5.5～R6.3)	1,913万円			3,150万円
(2)レジ通過者数	1.9万人※ (R5.5～R6.3)	2.0万人			4.2万人

※R5.5月にリニューアルオープンのため、出発点はR5.5月～R6.3月とする。

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
施設整備及び体制強化 ■宿毛市 ・物産館整備に向けた事業計画の策定、実施設計、施設整備 ・出品者等との連携強化 ・運営状況等に関するミーティングの実施 □県(地域本部等) ・産振補助金ほか、各種支援制度に関する情報提供	計画策定・ 実施設計		施設 整備	施設 稼働
特産品等の販売促進 ■宿毛市 ・宿毛市推奨品認定制度を活用した特産品のPR ・市内の一次産品を活用した目玉グルメ商品の開発 ・道の駅グルメ全国コンテストへの出場 ・キッチンカー事業者と連携した季節ごとのイベント開催 □県(地域本部等) ・産振アドバイザー制度の活用提案		グルメ商品の開発		グルメ 商品の 販売
道の駅を核とした市内周遊促進の強化 ■宿毛市 ・SNS等を活用した情報発信の強化 ・人流データを活用したマーケティング分析 ・他団体と連携した周遊促進事業の実施 □県(地域本部等) ・プロモーション活動に伴う支援 ・各種支援制度に関する情報提供			イベントの開催	
			情報発信の強化	
				周遊促進事業の実施

AP名 (実施地域)	No.14 幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進 (四万十市)
実施主体	◎(有)和
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	地域色豊かな食材を活用した加工食品を開発・製造・販売することで、食材自体の認知度を向上させ、生産者の所得向上を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
商品開発及び改良	<ul style="list-style-type: none"> ・地域素材を利用した冷凍餃子の開発 (H28) ・調味料等の商品開発 ・県内事業者等と共同での商品開発及び OEM 受注 ・土佐 MBA アドバンスコース等の受講 (H28、H30、R元) 	[成果] ・売上高 R2 : 1,444 万円 → R4 : 1,965 万円 → R5 : 1,859 万円 → R6 : 1,975 万円
販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・自社 HP 開設 (R3) ・通販 (まるごと高知 OnlineShop) の開始 (R3) 	[課題] ・人手不足(商品開発・営業担当) ・OEM 商品の開発・販売促進
生産体制の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設整備に向けた検討 (R元～) 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	1,965 万円 (R4)	1,975 万円			3,000 万円

※会計年度：6月～5月→4月～3月に変更 (R6 実績～)

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
OEM 商品の開発強化 ■(有)和 ・県内外事業者との連携による OEM 商品の共同開発及び受託開発 □県 (地域本部等) ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用提案 ・各種支援制度に関する情報提供	OEM 商品の開発			
外商の強化 ■(有)和 ・商談会等への出展 ・県内外事業者との連携による OEM 商品の販売拡大 □県 (地域本部等) ・商談会や各種支援制度等の情報提供	商談会等への出展			
人材の確保 ■(有)和 ・新たな人材の雇用・育成 □県 (地域本部等) ・土佐 MBA 等講座の紹介 ・各種支援制度の情報提供 加工販売拡大に向けた事業計画等の検討 ■(有)和 ・新たな事業計画 (施設整備を含む) の検討、事業計画の策定 □県 (地域本部等) ・産振補助金の活用を検討 ・その他各種支援制度の情報提供	事業計画 等の検討	施設 整備	生産体制の構築 (分業制の導入)	

幡多地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.14 幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進 (四万十市)
実施主体	◎(有)和
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	地域色豊かな食材を活用した加工食品を開発・製造・販売することで、食材自体の認知度を向上させ、生産者の所得向上を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
商品開発及び改良	<ul style="list-style-type: none"> 地域素材を利用した冷凍餃子の開発 (H28) 調味料等の商品開発 県内事業者等と共同での商品開発及び OEM 受注 土佐 MBA アドバンスコース等の受講 (H28、H30、R元) 	[成果] ・売上高 R2 : 1,444 万円 → R4 : 1,965 万円 → R5 : 1,859 万円 → R6 : 1,975 万円
販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> 自社 HP 開設 (R3) 通販 (まるごと高知 OnlineShop) の開始 (R3) 	[課題] ・人手不足(商品開発・営業担当) ・OEM 商品の開発・販売促進
生産体制の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> 新たな施設整備に向けた検討 (R元～) 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	1,965 万円 (R4)	1,975 万円			3,000 万円

※会計年度：6月～5月→4月～3月に変更 (R6 実績～)

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
OEM 商品の開発強化 ■(有)和 ・県内外事業者との連携による OEM 商品の共同開発及び受託開発 □県 (地域本部等) ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用提案 ・各種支援制度に関する情報提供				
外商の強化 ■(有)和 ・商談会等への出展 ・県内外事業者との連携による OEM 商品の販売拡大 □県 (地域本部等) ・商談会や各種支援制度等の情報提供				
人材の確保 ■(有)和 ・新たな人材の雇用・育成 □県 (地域本部等) ・土佐 MBA 等講座の紹介 ・各種支援制度の情報提供 加工販売拡大に向けた事業計画等の検討 ■(有)和 ・新たな事業計画 (施設整備を含む) の検討 □県 (地域本部等) ・産振補助金の活用等の検討 ・その他各種支援制度の情報提供				

修正前

幡多地域アクションプラン

		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.17 道の駅「ふれあいパーク・大月」を拠点とした産業振興と賑わいの創出 (大月町)		
実施主体	◎(一財)大月町ふるさと振興公社、大月町		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	道の駅「ふれあいパーク・大月」を町全体の産業振興と賑わい創出の拠点と位置付け、町内事業者等と連携しながら、農林畜水産品や加工品の開発・販売などの地産地消・外商を推進するとともに、町内外から人が集う交流の場を提供し、持続可能なまちづくりと地域の活力向上を目指す。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地場産品の販売促進、特産品の開発・販売の強化	<ul style="list-style-type: none"> 加工施設整備、ネット通販、カタログ販売の仕組みづくり及び商談会出展 (H21~22) → 産振補助金の活用 商品力の強化 (H26) → 産振アドバイザー制度の活用 通販サイトのリニューアル (H30) → 産振アドバイザー制度の活用 目指せ! 弥太郎 商人塾 in 幡多の受講 (H30) 「大月町地産外商推進協議会」への参画 (R5) 産直市及びふるさとセンターの改善・活用に係る施設改修案の検討 (R6) → 産振アドバイザー制度の活用 指定管理者大月町ふるさと振興公社の組織強化(R7) → 産振アドバイザー制度の活用 道の駅施設改修に係る方針案の検討 (R7) → 産振アドバイザー制度の活用 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」来客数 R2: 17.9万人 →R4: 18.6万人 →R5: 17.8万人 →R6: 16.5万人 売上高 R2: 2.04億円 →R4: 2.36億円 →R5: 2.30億円 →R6: 2,21億円 雇用者数 R2: 18人 ⇒ R5: 30人
賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい市出品者協議会の設立 各種イベントの企画・開催 おつきふれあいマーケット (月1回) (ふれあい市出品者協議会共催) もろこしまつり (備長炭のPR・販売促進) 「マグロのまち大月」のPR 他 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外商の推進 新商品開発 産直市の改善 ふるさとセンターの活用 加工施設の不足 イベント企画 人材の確保、育成

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	2億 3,655万円 (R4)	2億 2,089万円			2億 8,000万円
(2)入込数	18.6万人 (R4)	16.5万人			19.5万人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>地場産品の販売促進、特産品の開発・販売の強化</p> <p>■(一財)大月町ふるさと振興公社</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大月町地産外商推進協議会」と連携した外商の推進 商談会への出展 既存商品の改良 新商品の開発 産直市及びふるさとセンターの改善・活用に係る施設改修案の検討 <p>■大月町</p> <ul style="list-style-type: none"> 産直市及びふるさとセンターの改善・活用に係る施設改修案の検討 <p>□県(地域本部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援制度の情報提供 				
<p>賑わいの創出</p> <p>■(一財)大月町ふるさと振興公社</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内事業者や他の道の駅等との連携によるイベントの企画・開催 もろこしまつり (備長炭のPR・販売促進) 「マグロのまち大月」のPR 他 各種イベント等の情報発信 <p>■大月町</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携イベント開催等に向けた他事業者等との調整 <p>□県(地域本部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援制度の情報提供 				

幡多地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.16 道の駅「ふれあいパーク・大月」を拠点とした産業振興と賑わいの創出 (大月町)
実施主体	◎(一財)大月町ふるさと振興公社、大月町
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	道の駅「ふれあいパーク・大月」を町全体の産業振興と賑わい創出の拠点と位置付け、町内事業者等と連携しながら、農林畜水産品や加工品の開発・販売などの地産地消・外商を推進するとともに、町内外から人が集う交流の場を提供し、持続可能なまちづくりと地域の活力向上を目指す。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地場産品の販売促進、特産品の開発・販売の強化	<ul style="list-style-type: none"> 加工施設整備、ネット通販、カタログ販売の仕組みづくり及び商談会出展 (H21~22) → 産振補助金の活用 商品力の強化 (H26) → 産振アドバイザー制度の活用 通販サイトのリニューアル (H30) → 産振アドバイザー制度の活用 目指せ! 弥太郎 商人塾 in 幡多の受講 (H30) 「大月町地産外商推進協議会」への参画 (R5) 産直市及びふるさとセンターの改善・活用に係る施設改修案の検討 (R6)→ 産振アドバイザー制度の活用 指定管理者大月町ふるさと振興公社の組織強化(R7) → 産振アドバイザー制度の活用 道の駅施設改修に係る方針案の検討 (R7) → 産振アドバイザー制度の活用 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」来客数 R2: 17.9万人 →R4: 18.6万人 →R5: 17.8万人 →R6: 16.5万人 売上高 R2: 2.04億円 →R4: 2.36億円 →R5: 2.30億円 →R6: 2,21億円 雇用者数 R2: 18人⇒R5: 30人
賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい市出品者協議会の設立 各種イベントの企画・開催 おつきふれあいマーケット (月1回) (ふれあい市出品者協議会共催) もろこしまつり (備長炭のPR・販売促進) 「マグロのまち大月」のPR 他 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 外商の推進 新商品開発 産直市の改善 ふるさとセンターの活用 加工施設の不足 イベント企画 人材の確保、育成

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	2億 3,655万円 (R4)	2億 2,089万円			2億 8,000万円
(2)入込数	18.6万人 (R4)	16.5万人			19.5万人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
地場産品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■(一財)大月町ふるさと振興公社 <ul style="list-style-type: none"> 「大月町地産外商推進協議会」と連携した外商の推進 商談会への出展 既存商品の改良 新商品の開発 道の駅施設改修に係る施設改修案の検討及び関連協議 ■大月町 <ul style="list-style-type: none"> 道の駅施設改修に係る施設改修案の検討及び設計業務 □県 (地域本部) <ul style="list-style-type: none"> 支援制度の情報提供 		外商推進 既存商品改良	新商品開発 関連協議	施設改修案の検討 基本設計 実施設計
賑わいの創出 <ul style="list-style-type: none"> ■(一財)大月町ふるさと振興公社 <ul style="list-style-type: none"> 町内事業者や他の道の駅等との連携によるイベントの企画・開催 もろこしまつり (備長炭のPR・販売促進) 「マグロのまち大月」のPR 他 各種イベント等の情報発信 ■大月町 <ul style="list-style-type: none"> 連携イベント開催等に向けた他事業者等との調整 □県 (地域本部) <ul style="list-style-type: none"> 支援制度の情報提供 		イベント企画・開催	イベントの情報発信	

幡多地域アクションプラン

分野 観光

AP名 (実施地域)	No.28 三原村の魅力をかきた滞在型・体験型観光の推進 (三原村)
実施主体	◎三原村、◎(一社)三原村集落活動センターやまびこ、三原村商工会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	豊かな自然環境のもと村内の農家民宿・農家レストランや濁酒特区の取り組み等を活用した滞在型・体験型観光を推進するとともに、幡多地域全体で連携して誘客促進に取り組み、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> 観光プログラムの運用開始に向け、体験モニターを実施 (R2) 星ヶ丘公園 (ヒメノボタンの里) 交流棟・遊歩道の整備 (R2) 地域資源を活用した観光プログラムの造成 (R3) <ul style="list-style-type: none"> → 観光アドバイザー (山村活性化対策事業) の活用 体験メニュー (ポタリング) の造成 (R4~) <ul style="list-style-type: none"> → アドバイザー (農村 RMO 形成推進事業) の活用 星ヶ丘公園 (ヒメノボタンの里) の老朽化した橋、遊歩道等の整備 (R4) → 博覧会受入環境等整備事業費補助金の活用 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客入込数 <ul style="list-style-type: none"> R2 : 0.83 万人 → R4 : 1.16 万人 → R5 : 1.60 万人 → R6 : 1.40 万人 体験プログラムの開発 <ul style="list-style-type: none"> R元 : 2 件 → R3 : 3 件 → R5 : 3 件
誘客促進の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 村内外でのイベントで誘客促進を図るため、三原村の PR 動画を作成 (R元) 三原村フォトコンテストの開催 (R元~) コロナ禍におけるカフェ運営のノウハウを習得 (R2) <ul style="list-style-type: none"> → コロナ対策アドバイザーの活用 星ヶ丘公園への「ポケふた」設置 (R6) 	<ul style="list-style-type: none"> 研修等を通じて、地域観光ガイドを育成 <ul style="list-style-type: none"> 地域観光ガイド数 : 4 人 (R5) プロンプトンポタリングガイド数 : 3 人 (R6) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験プログラムの造成及び磨き上げ 主要催事のマンネリ化の解消 長期滞在の促進、滞在時間延長など経済波及効果を高める仕組みづくり 観光の担い手不足 情報発信力の強化
推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> Facebook「三原村星ヶ丘公園／ヒメノボタンの里」での情報発信 (R2~) 土佐の観光創生塾受講 1 名 (R4) 草花ガイド養成講座受講 4 名 (R4) プロンプトンポタリング ガイド研修会開催、申込予約 HP 作成 (R6) <ul style="list-style-type: none"> → 農村 RMO 形成推進事業の活用 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
観光客入込数	1.16 万人 (R4)	1.40 万人			2 万人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三原村 <ul style="list-style-type: none"> 新たな滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ ■(一社)三原村集落活動センターやまびこ <ul style="list-style-type: none"> 観光客と体験プログラム実施主体との橋渡し 体験プログラム (ポタリングツアー) の実証及び運用開始 SNS 等を通じた情報発信 □県 (地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度等の活用提案 		<p>滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ</p>		
	ポタリングの実証		ポタリングツアーの運用開始	
<p>誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三原村 <ul style="list-style-type: none"> 星ヶ丘公園 (ヒメノボタンの里) の維持・管理 誘客促進に向けた施設整備の検討 ■三原村商工会 <ul style="list-style-type: none"> 四万十かいどう推進協議会三原支部への支援 「ヒメノボタンの里めぐり」等のイベント運営 □県 (地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 各種イベント実行委員会への参画によるアドバイス、観光関連の情報提供 産振アドバイザー制度等の活用提案、各種支援制度の情報提供 			星ヶ丘公園の維持・管理	
			各種イベントの開催	
<p>推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三原村 <ul style="list-style-type: none"> 地域観光ガイドの掘り起こし・育成 アドバイザー等を活用した情報発信のスキルアップ マスコミ等を通じた PR □県 (地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度等の活用提案、研修及び各種支援制度の紹介 		地域観光ガイドの掘り起こし	地域観光ガイドの育成	
	情報発信のスキルアップ		マスコミを通じた PR	

幡多地域アクションプラン

分野 観光

AP名 (実施地域)	No.27 三原村の魅力をかきた滞在型・体験型観光の推進 (三原村)
実施主体	◎三原村、◎(一社)三原村集落活動センターやまびこ、三原村商工会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	豊かな自然環境のもと村内の農家民宿・農家レストランや濁酒特区の取り組み等を活用した滞在型・体験型観光を推進するとともに、幡多地域全体で連携して誘客促進に取り組み、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> 観光プログラムの運用開始に向け、体験モニターを実施 (R2) 星ヶ丘公園 (ヒメノボタンの里) 交流棟・遊歩道の整備 (R2) 地域資源を活用した観光プログラムの造成 (R3) <ul style="list-style-type: none"> → 観光アドバイザー (山村活性化対策事業) の活用 体験メニュー (スローサイクリング) の造成 (R4~) <ul style="list-style-type: none"> → アドバイザー (農村 RMO 形成推進事業) の活用 星ヶ丘公園 (ヒメノボタンの里) の老朽化した橋、遊歩道等の整備 (R4) <ul style="list-style-type: none"> → 博覧会受入環境等整備事業費補助金の活用 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客入込数 <ul style="list-style-type: none"> R2 : 0.83 万人 → R4 : 1.16 万人 → R5 : 1.60 万人 → R6 : 1.40 万人 体験プログラムの開発 <ul style="list-style-type: none"> R元 : 2 件 → R3 : 3 件 → R5 : 3 件
誘客促進の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 村内外でのイベントで誘客促進を図るため、三原村の PR 動画を作成 (R元) 三原村フォトコンテストの開催 (R元~) コロナ禍におけるカフェ運営のノウハウを習得 (R2) <ul style="list-style-type: none"> → コロナ対策アドバイザーの活用 星ヶ丘公園への「ポケふた」設置 (R6) 	<ul style="list-style-type: none"> 研修等を通じて、地域観光ガイドを育成 <ul style="list-style-type: none"> 地域観光ガイド数 : 4 人 (R5) スローサイクリングガイド数 : 3 人 (R6) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験プログラムの造成及び磨き上げ 主要催事のマンネリ化の解消 長期滞在の促進、滞在時間延長など経済波及効果を高める仕組みづくり 観光の担い手不足 情報発信力の強化
推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> Facebook「三原村星ヶ丘公園／ヒメノボタンの里」での情報発信 (R2~) 土佐の観光創生塾受講 1 名 (R4) 草花ガイド養成講座受講 4 名 (R4) スローサイクリングガイド研修会開催、申込予約 HP 作成 (R6) <ul style="list-style-type: none"> → 農村 RMO 形成推進事業の活用 村 HP 等における情報発信のノウハウ習得 (R7) <ul style="list-style-type: none"> → 産振アドバイザー制度の活用 	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
観光客入込数	1.16 万人 (R4)	1.40 万人			2 万人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p>地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三原村 <ul style="list-style-type: none"> 新たな滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ ■(一社)三原村集落活動センターやまびこ <ul style="list-style-type: none"> 観光客と体験プログラム実施主体との橋渡し 体験プログラム (スローサイクリングツアー) の実証及び運用開始 SNS 等を通じた情報発信 □県 (地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度等の活用提案 		<p>滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ</p>		
	<p>スローサイクリングの実証</p>		<p>スローサイクリングツアーの運用開始</p>	
<p>誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三原村 <ul style="list-style-type: none"> 星ヶ丘公園 (ヒメノボタンの里) の維持・管理 誘客促進に向けた施設整備の検討 ■三原村商工会 <ul style="list-style-type: none"> 四万十かいどう推進協議会三原支部への支援 「ヒメノボタンの里めぐり」等のイベント運営 □県 (地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 各種イベント実行委員会への参画によるアドバイス、観光関連の情報提供 産振アドバイザー制度等の活用提案、各種支援制度の情報提供 			<p>星ヶ丘公園の維持・管理</p>	
				<p>各種イベントの開催</p>
<p>推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三原村 <ul style="list-style-type: none"> 地域観光ガイドの掘り起こし・育成 アドバイザー等を活用した情報発信のスキルアップ マスコミ等を通じた PR □県 (地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> 産振アドバイザー制度等の活用提案、研修及び各種支援制度の紹介 		<p>地域観光ガイドの掘り起こし</p>	<p>地域観光ガイドの育成</p>	
	<p>情報発信のスキルアップ</p>			<p>マスコミを通じた PR</p>